⑵　現金及び預金	6,268,050	6,268,050	—
⑶　未収附属病院収入	4,274,497		
徴収不能引当金（＊２）	△　90,332		
	4,184,165	4,184,165	—
⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金	(2,948,442)	(3,117,237)	(168,795)
⑸　長期借入金	(14,405,886)	(14,391,341)	(△14,544)
⑹　リース債務	(1,483,706)	(1,492,711)	(9,004)
⑺　未払金	(4,114,004)	(4,114,004)	—

（＊１）　負債に計上されているものについては、(　) で示している。
（＊２）　未収附属病院収入に個別に計上している徴収不能引当金を控除している。
（注１）金融商品の時価の算定方法
⑴　投資有価証券及び有価証券
これらの時価について、取引金融機関から提示された価格による。
⑵　現金及び預金、並びに⑶　未収附属病院収入
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。
⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金、⑸　長期借入金及び⑹　リース債務
これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入又は、リース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定している。
⑺　未払金
短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額による。

（資産除去債務関係）
１．資産除去債務の概要
石綿障害予防規則等によるものである。
２．資産除去債務の金額の算定方法
使用見込期間を耐用年数と見積り、耐用年数に応じた利付国債の流通利回りにより割り引いて算定している。
３．当事業年度における資産除去債務の総額の増減　（単位：千円）

変　動　の　内　容	当事業年度における総額の増減
前事業年度末残高	57,053
有形固定資産の取得に伴う増加額	—
時の経過による調整額	1,041
その他	—
当事業年度末残高	58,094

（重要な債務負担行為）

事　業　名	契　約　額	うち翌期以降支払金額
１．総合研究棟（疫学研究拠点）　新営工事	280,140千円	186,144千円

（重要な後発事象）
該当事項なし
（表示方法）
財務諸表は、千円未満を切り捨てて表示しているため、合計額と一致しないことがある。
ただし、利益の処分に関する書類（案）は、円単位で表示している。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費(「第84　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89　資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)並びに減損損失の明細　（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	9,091,732	831,746	114,977	9,808,502	4,272,660	306,553	—	—	—	5,535,841	
	構築物	601,923	—	1,765	600,158	367,827	17,430	—	—	—	232,330	
	工具器具備品	204,946	62,182	666	266,462	158,078	15,358	—	—	—	108,384	
	図書	2,222	—	—	2,222			—	—	—	2,222	
	船舶	3,440	—	—	3,440	3,439	—	—	—	—	0	
	計	9,904,265	893,929	117,408	10,680,786	4,802,007	339,342	—	—	—	5,878,778	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	16,660,761	65,606	—	16,726,368	4,534,776	820,252	—	—	—	12,191,591	
	構築物	497,976	16,985	—	514,962	245,678	23,234	—	—	—	269,283	
	工具器具備品	15,282,033	973,178	86,677	16,168,535	10,338,120	2,148,860	—	—	—	5,830,415	
	図書	1,526,049	20,849	23,603	1,523,295			—	—	—	1,523,295	